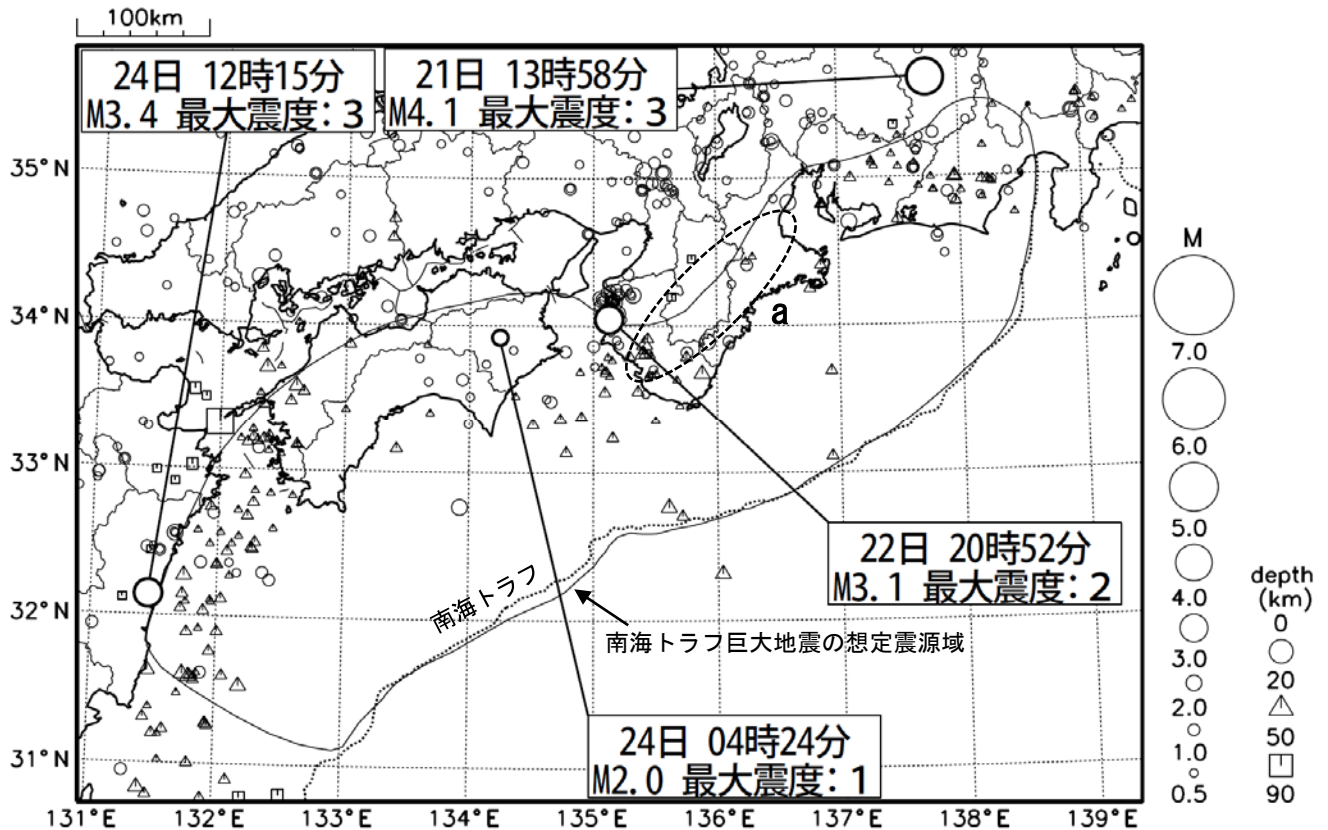


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 13

* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（令和2年3月20日～3月26日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（ $M \geq 0.5$ 、震源の深さ0～90km）。

[概況]

紀伊半島北部から紀伊半島西部のプレート境界深部で短期的ゆっくりすべりが発生したと推定される。

[主な地震活動]

- ・特に目立った活動はなかった。

[主な深部低周波地震（微動）活動※¹と地殻変動]

〔領域a〕 3月8日から23日にかけて、紀伊半島北部から紀伊半島西部で深部低周波地震（微動）を観測した。周辺に設置されている複数のひずみ計※²で地殻変動を観測した。

これらは、プレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定される。

[その他の地域]

- ・21日13時58分に、長野県南部でM4.1の地震（深さ11km、最大震度3）が発生した。
- ・24日12時15分に、宮崎県北部平野部でM3.4の地震（深さ19km、最大震度3）が発生した。

※¹：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

※²：気象庁、国立研究開発法人 産業技術総合研究所のひずみ計。